

今月の最優秀作品

漢字条幅

小峯 河野 未歩 運筆の呼吸が感じられ、真剣に取り組んでいる姿勢が想像出来る。文字の大小、疎密、配置、墨色、どれも美しく最優秀作品に輝いた。

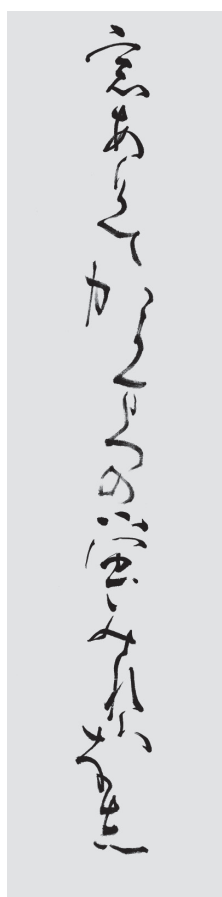
(選評 中村 紫泉)



かな条幅

郁野 片岡 啓太 遅速緩急を心得た筆使いで、線の太細や墨量の変化等を、余裕を持って表現された品位のある作品となった。

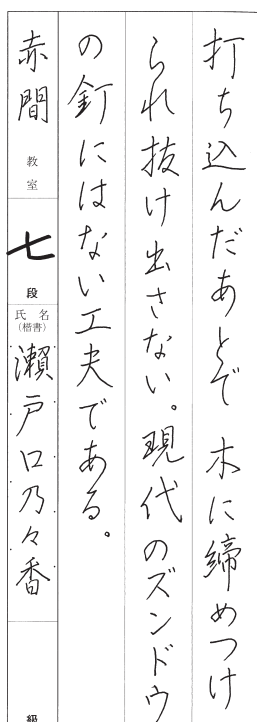
(選評 八尋 光華)



ペン

赤間 瀬戸口乃々香 筆脈が自然で行間の余白も美しく、力みのない丁寧な書きぶりで全体をまとめ、名前にいたるまで見事。

(選評 阿部 湘花)



漢字半紙

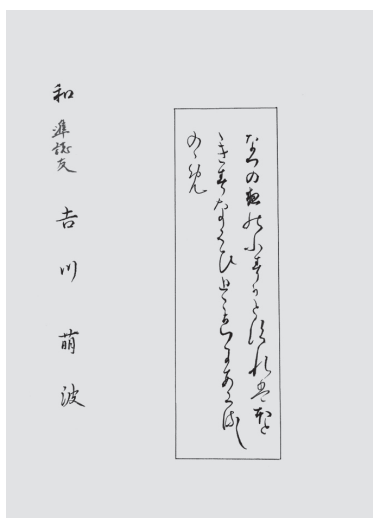


久青 鈴木 駿矢

鋒先が筆画の中心を通るように運筆され、起筆、送筆、収筆全てに気持ちが行き届いている。字の大きさも程よく、明るく品のある作品となった。

(選評 多田 溪翠)

かな半紙

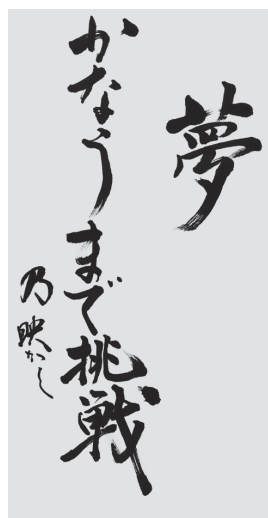


和 吉川 萌波

墨量の多い二行、キリッとした三行目、ともに原帖の雰囲気をよくとらえ、行の流れが美しい。関戸本らしい粘りのある線も魅力。

(選評 春山 圭子)

新和様



詠雪 長谷川乃映

布置良く余白が生きて明るい作品。二行目の行の流れが自然で魅力的である。「戦」の戈旁の二画目は伸びのある力強い線で見事。

◇ 今月の優秀作品 ◇

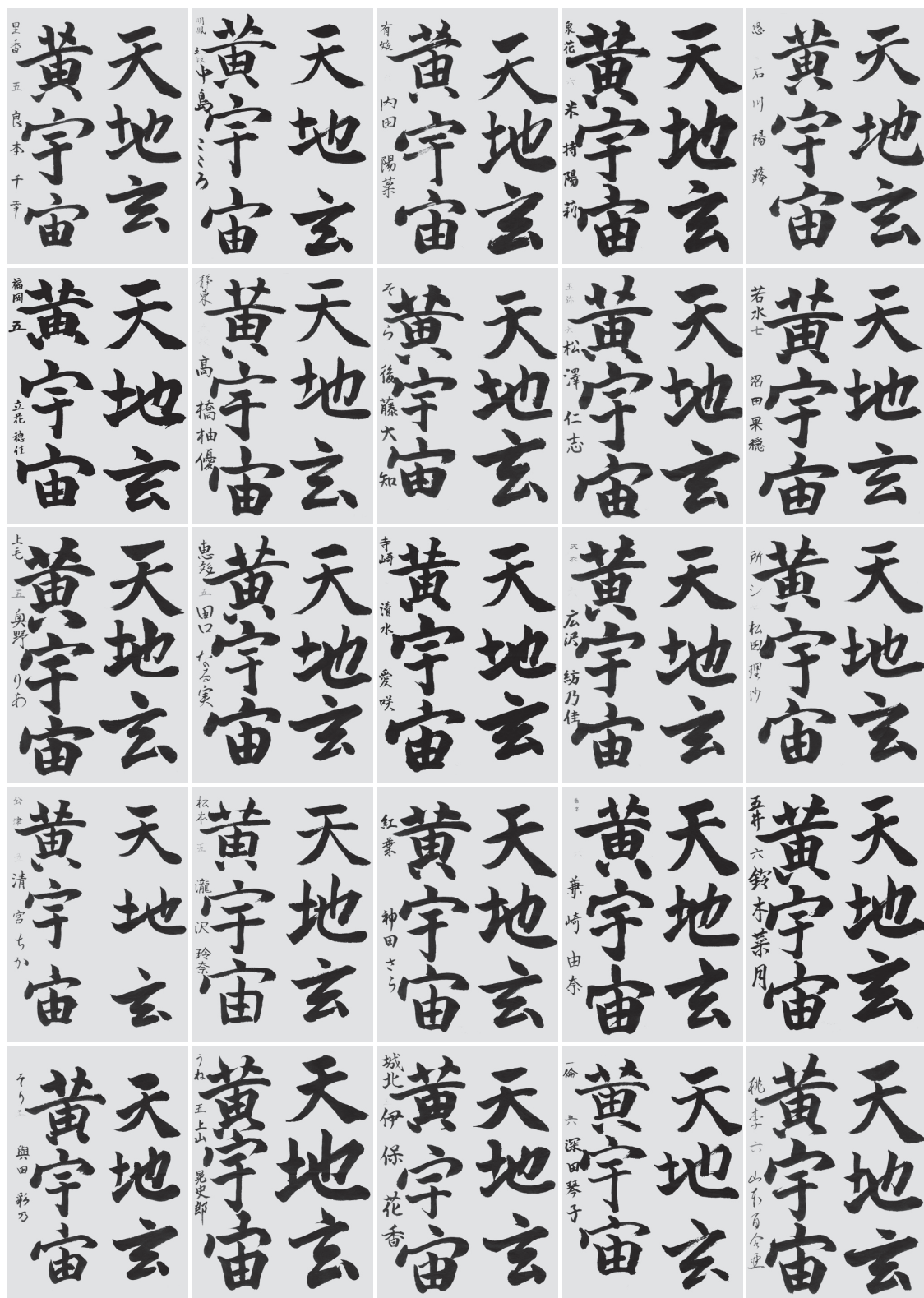
天地玄 黄宇宙
夕長崎 真尋
天地玄 黄宇宙
頭城 延加藤 ひかり
天地玄 黄宇宙
森山 紗菜
天地玄 黄宇宙
宮部 小野由衣那
天地玄 黄宇宙
平泉 佐藤 妙世莉

天地玄 黄宇宙
可書 松山 咲月
天地玄 黄宇宙
桶川 山崎 咲音
天地玄 黄宇宙
番 桜塩崎 ひかり
天地玄 黄宇宙
田代 佐々木 美音
天地玄 黄宇宙
磯 八 石原 瑞香

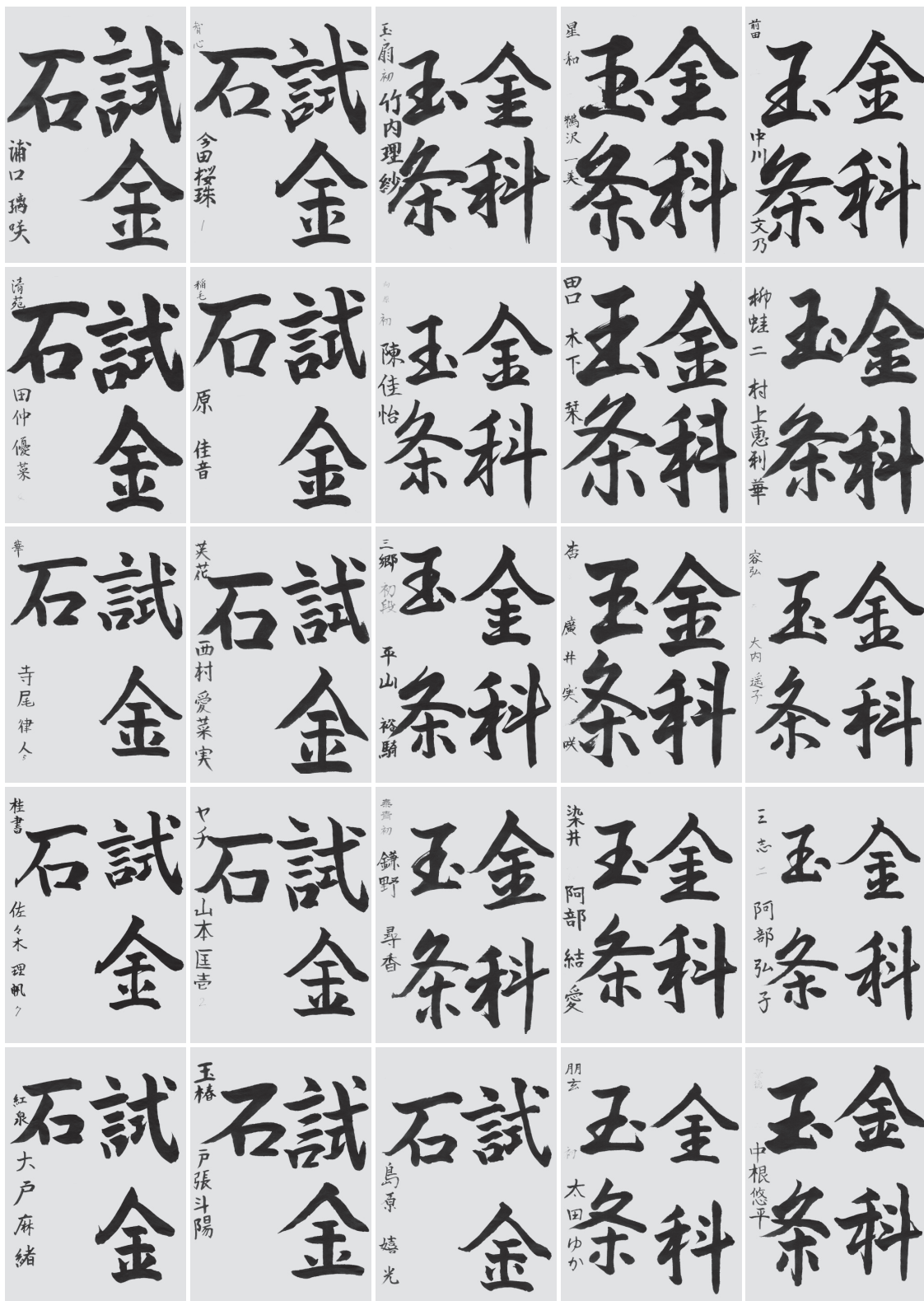
天地玄 黄宇宙
八 大澤 愛奈未
天地玄 黄宇宙
うん 王陽 晴心
天地玄 黄宇宙
中山 文乃
天地玄 黄宇宙
淡泉 八字 敷真衣
天地玄 黄宇宙
碧空 八 口 彩良

天地玄 黄宇宙
岐七 八小林 璃緒
天地玄 黄宇宙
白鳥 八 山手 ゆき
天地玄 黄宇宙
三 八 鈴 木 悠 翔
天地玄 黄宇宙
東海 中野 蓮介
天地玄 黄宇宙
五香 伊藤 砂 羽

天地玄 黄宇宙
村上 奈津
天地玄 黄宇宙
天恵 イムラン 葉羽
天地玄 黄宇宙
あい 間 仁田 志桜 菜
天地玄 黄宇宙
孫 大 和 葉 菜
天地玄 黄宇宙
双玉 七小松 愛 怜







おのねがふそとふれあふ
いそがひもいそがひもあふ
のね

白鳥 八 石垣彩七

墨すつて

越り七夕は
つり

文月四段 山本望生

墨すつて

越り七夕は
つり

金子三段 澤口日奈

墨すつて

越り七夕は
つり

りん 糟谷翔音

おのねがふそとふれあふ
いそがひもいそがひもあふ
のね

郁野 八 片岡啓太

墨すつて

越り七夕は
つり

桃李四拍系彩苑

墨すつて

越り七夕は
つり

大井三段宮田菜織

墨すつて

越り七夕は
つり

栄友 初末安紅葉

おのねがふそとふれあふ
いそがひもいそがひもあふ
のね

頸城 七 香木希実

墨すつて

越り七夕は
つり

瑞雪 大名葉菜

墨すつて

越り七夕は
つり

白華二覚道すみれ

墨すつて

越り七夕は
つり

ハル 初 鈴木晴花

おのねがふそとふれあふ
いそがひもいそがひもあふ
のね

碧空 六 高木愛佳

墨すつて

越り七夕は
つり

御影三 長井悠華

墨すつて

越り七夕は
つり

書倫 二段 木村有希

墨すつて

越り七夕は
つり

ふみ 初 及川菜月

曾水 せきゆめみー えひもせすん 小杉樹里 5	FF せきゆめみー えひもせすん 寺本紗彩 3	森山 せきゆめみー えひもせすん 森山紗菜 2	楓 せきゆめみー えひもせすん 南美羽 1
ふじ せきゆめみー えひもせすん 佃結愛 6	英花 せきゆめみー えひもせすん 菅沼芽生 4	五香 せきゆめみー えひもせすん 小太刀佳世	入船 せきゆめみー えひもせすん 小河悠那 1
紅葉 せきゆめみー えひもせすん 酒井優里	清苑 せきゆめみー えひもせすん 田仲優菜 2	大道 せきゆめみー えひもせすん 山下逸香 3	陽泉 せきゆめみー えひもせすん 伊藤千裕 1
長堀 せきゆめみー えひもせすん 山本紗季 7	モヲ せきゆめみー えひもせすん 鈴木礼菜 5	そら せきゆめみー えひもせすん 蟬塚桃花	南平 せきゆめみー えひもせすん 大野莉緒 2

静坐山齋月

愛良 書

恵 尠

鈴木 愛良

静坐山齋月

茉美花 書

A N

出町 茉美花

静坐山齋月

陽彩 書

玉 野

近藤 陽彩

静坐山齋月

藍子 書

浮 羽

江田 藍子

静坐山齋月

由佳理 書

栗 丘

小淵 由佳理

静坐山齋月

さほ 書

楓

遠藤 さほ

冷漢雲 冷漢雲

こはる 書

福岡

吉田 こはる

冷漢雲 冷漢雲

嘉恋 書

泉 花

古 川

嘉恋

冷漢雲 冷漢雲

優花 書

曾 水

小 林

優花

冷漢雲 冷漢雲

美稀 書

姫 春

高 森

美稀

実ありてかゝるの審みれは
まゝ

百花 奥田 陽羽

実ありてかゝるの審みれは
まゝ

白鳥 石垣 彩七

実ありてかゝるの審みれは
まゝ

香心 斎藤 茉莉

朝顔の
一しゆき
暑さる
美羽

三志 阿部 弘子

朝顔の
一しゆき
暑さる
一花

清和 中島 一志

朝顔の
一しゆき
暑さる
麗

清月 田中 麗

朝顔の
一しゆき
暑さる
蒼依

万里 石橋 蒼依

朝顔の
一しゆき
暑さる
美羽

府六 橋本 美羽

朝顔の
一しゆき
暑さる
和地

秋月 和地はるか

夢
かなうまで挑戦
ゆま

大楠 矢ノ口ゆま

夢
かなうまで挑戦
唯名

長太 山中 唯名

夢
かなうまで挑戦
駿矢

久青 鈴木 駿矢

夢
かなうまで挑戦
賢徳

泉花 渡辺 賢徳

夢
かなうまで挑戦
暁

栗丘 吉野 暁

夢
かなうまで挑戦
愛珠

山本 片野 愛珠

夢
かなうまで挑戦
柳乃

有延 関口 桃乃

夢
かなうまで挑戦
咲音

桶川 山崎 咲音

夢
かなうまで挑戦
梨生和ゆく

はな
角田梨生和

夢
かなうまで挑戦
紫理かく

やの
武井 紫理

夢
かなうまで挑戦
心結かく

一倫
磯崎 心結

夢
かなうまで挑戦
結筆かく

福岡
本田 結菜

夢
かなうまで挑戦
沙南かく

せと
渡邊 沙南

夢
かなうまで挑戦
愛良かく

恵彰
鈴木 愛良

夢
かなうまで挑戦
マノンかく

モン
テオレ マノン

夢
かなうまで挑戦
初紅かく

若林
青木 結奈

やはらかに
金魚は
網にさからひぬ
東浦 門谷美虹

やはらかに
金魚は
網にさからひぬ
美栗 佐藤恭音

やはらかに
金魚は
網にさからひぬ
都城 大塚愛音

やはらかに
金魚は
網にさからひぬ
小千 木原暖心

やはらかに
金魚は
網にさからひぬ
松原 植木琴巴

やはらかに
金魚は
網にさからひぬ
小諸 柳澤 夢心

やはらかに
金魚は
網にさからひぬ
美泉 吉川百花

やはらかに
金魚は
網にさからひぬ
池田 結香

やはらかに
金魚は
網にさからひぬ
香桜 原田慶

やはらかに
金魚は
網にさからひぬ
鈴木 彩心

やはらかに
金魚は
網にさからひぬ
南平 黒川智帆

やはらかに
金魚は
網にさからひぬ
清苑 田仲優菜

やはらかに
金魚は
網にさからひぬ
光書 奈須 愛由美

やはらかに
金魚は
網にさからひぬ
こり 竹中瑠菜

やはらかに
金魚は
網にさからひぬ
中條 琉偉

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
コム 六 原 田 蒼

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
はな 六 角 田 梨生 和

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
詠書 七 長 谷 川 乃 映

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
茎 通 七 泉 和 緒 子

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
そら 八 蟬 塚 桃 花

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
六 八 安 藤 千 春

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
D P 八 中 條 琉 偉

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
洗心 六 柳 村 暁 子

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
小 八 金 森 理 桜

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
白 七 覚 道 す け

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
蘭 友 七 庵 原 梨 里 花

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
夕 八 中 西 緑

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
平 八 佐 藤 妙 世 莉

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
佳 八 奥 村 凜 子

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
厚 本 六 宮 田 奏 花

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
あい 六 桜 木 那 波

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
栗 丘 六 市 川 紗 希

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
一 七 黄 千 夏

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
緑 七 二 宮 翼

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
加 八 浦 井 狂 奏

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
仙 水 八 幸 村 彩 果

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
湖 月 五 羽 鳥 叶 恵

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
久 青 六 新 井 純 怜

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
栄 友 六 末 安 純 景

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
長 太 七 清 水 優 羽

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
六 花 七 岡 田 奈 夕

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
香 八 稲 葉 花 凜

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
上 井 八 藤 村 和 佳

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
松塚 五 段 氏名 岩崎 葵 依

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
大谷 五 段 氏名 江口 真穂

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
榮寿 四 段 氏名 藤安 絢音

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
あわは 四 段 氏名 堺 小夜

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
奈良 四 段 氏名 松岡 心寧

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
桶川 三 段 氏名 原 舞衣

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
船堀 三 段 氏名 恋田 夏羽

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
長山 五 段 氏名 原島 自羽

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
白鳥 五 段 氏名 飯島 知三

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
いろは 四 段 氏名 井関 桂奈

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
松田 四 段 氏名 鈴木 也い

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
せと 三 段 氏名 会津 優

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
うみ 三 段 氏名 吉田 楓葉

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
一陽 三 段 氏名 大西 心菜

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
東浦 五 段 氏名 門谷 美虹

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
若林 五 段 氏名 青木 結奈

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
景水 四 段 氏名 弓野 うた

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
清光 四 段 氏名 伊藤 英李

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
祥 一 段 氏名 宇津 原りん

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
ゆめ 三 段 氏名 鎌形 透

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
桑文 二 段 氏名 徳永 美璃

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
高取 五 段 氏名 岩田 さと子

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
青一 一 段 氏名 浜田 栗央

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
湘花 四 段 氏名 船戸 優里奈

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
福元 四 段 氏名 福元 逸香

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
天 三 段 氏名 池谷 優芽

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
おく 三 段 氏名 大嶋 さくら

打ち込んだあとで 木に締めつけ
られ抜け出さない。現代のズンドウ
の釘にはない工夫である。
福二 二 段 氏名 木村 陽華

三条	教習	段	氏名	高宮 結子	4	歳
遠いところのできごとや人の心の奥を見抜く力。千里眼。						

大迫	教習	段	氏名	本多 真音	2	歳
遠いところのできごとや人の心の奥を見抜く力。千里眼。						

津島	教習	段	氏名	糟谷 颯太	1	歳
遠いところのできごとや人の心の奥を見抜く力。千里眼。						

紫泉	教習	初	段	氏名	河西 舞子	歳
打ち込んだあとで本に締めつけられ抜け出さない。現代のズンドウの釘にはない工夫である。						

月倫	教習	初	段	氏名	右近 優季	歳
打ち込んだあとで本に締めつけられ抜け出さない。現代のズンドウの釘にはない工夫である。						

台道	教習	二	段	氏名	尾崎 円 芦	歳
打ち込んだあとで本に締めつけられ抜け出さない。現代のズンドウの釘にはない工夫である。						

秘中	教習	二	段	氏名	塩向 優菜	歳
打ち込んだあとで本に締めつけられ抜け出さない。現代のズンドウの釘にはない工夫である。						

清苑	教習	段	氏名	田仲 優菜	5	歳
遠いところのできごとや人の心の奥を見抜く力。千里眼。						

瑞樹	教習	段	氏名	中島 佳央	2	歳
遠いところのできごとや人の心の奥を見抜く力。千里眼。						

あけ	教習	段	氏名	小暮 愛奈	1	歳
遠いところのできごとや人の心の奥を見抜く力。千里眼。						

中奈	教習	初	段	氏名	山田 潤ノ助	歳
打ち込んだあとで本に締めつけられ抜け出さない。現代のズンドウの釘にはない工夫である。						

郵城	教習	初	段	氏名	池田 優佳	歳
打ち込んだあとで本に締めつけられ抜け出さない。現代のズンドウの釘にはない工夫である。						

小笹	教習	二	段	氏名	川内 陽葵	歳
打ち込んだあとで本に締めつけられ抜け出さない。現代のズンドウの釘にはない工夫である。						

向原	教習	二	段	氏名	加瀬 綾菜	歳
打ち込んだあとで本に締めつけられ抜け出さない。現代のズンドウの釘にはない工夫である。						

品濃	教習	段	氏名	大西 隆介	6	歳
遠いところのできごとや人の心の奥を見抜く力。千里眼。						

大井	教習	段	氏名	池田 華蓮	3	歳
遠いところのできごとや人の心の奥を見抜く力。千里眼。						

明代	教習	段	氏名	高橋 美里	歳
遠いところのできごとや人の心の奥を見抜く力。千里眼。					

白庭	教習	初	段	氏名	榎 谷 結	歳
打ち込んだあとで本に締めつけられ抜け出さない。現代のズンドウの釘にはない工夫である。						

公津	教習	初	段	氏名	小川 結子	歳
打ち込んだあとで本に締めつけられ抜け出さない。現代のズンドウの釘にはない工夫である。						

東海	教習	二	段	氏名	仲村 啓汰	歳
打ち込んだあとで本に締めつけられ抜け出さない。現代のズンドウの釘にはない工夫である。						

中原	教習	二	段	氏名	窪田 十和子	歳
打ち込んだあとで本に締めつけられ抜け出さない。現代のズンドウの釘にはない工夫である。						

紅泉	教習	段	氏名	大戸 麻緒	7	歳
遠いところのできごとや人の心の奥を見抜く力。千里眼。						

有馬	教習	段	氏名	森本 千尋	3	歳
遠いところのできごとや人の心の奥を見抜く力。千里眼。						

明鳳	教習	段	氏名	清家 未来	1	歳
遠いところのできごとや人の心の奥を見抜く力。千里眼。						

三志志	教習	段	氏名	阿部 弘子	1	歳
遠いところのできごとや人の心の奥を見抜く力。千里眼。						

小平	教習	初	段	氏名	前澤 敬子	歳
打ち込んだあとで本に締めつけられ抜け出さない。現代のズンドウの釘にはない工夫である。						

ゆき	教習	初	段	氏名	若崎 幸奈	歳
打ち込んだあとで本に締めつけられ抜け出さない。現代のズンドウの釘にはない工夫である。						

べの	教習	二	段	氏名	松雪 叶	歳
打ち込んだあとで本に締めつけられ抜け出さない。現代のズンドウの釘にはない工夫である。						



<漢字一字書>

<平がな一字書>

平泉

佐藤紗世莉



そり

里見 彩乃



NY

柳 仁愛



湘花

永村 楓



景水

弓野 うた



福岡

樋口さくら



姫春

高橋 悦子



玉菰

奥野 萌梨



そり

永山 叶子



仙水

種田 奏佑



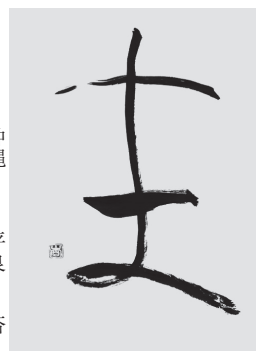
そり

坂本真優果



沖縄

平良 杏



そり

奥田 彩乃



生山

岸田 弘



はな

北林 千佳



姫春

関 豊子

